

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			適切ではあるが、障害特性により狭く感じている。今後、スペースを広げる予定。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			今年度、常勤1名の増員を行った。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		知的障害児を対象としている。また賃貸物件により、完全なバリアフリーではないが、今後バリアフリー化予定。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			全職員が業務目標を設定し、月1回のミーティング内で振り返り等行い、支援につなげられるよう努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			ミーティング内で周知を行い、業務改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人HPに公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	○	第3者評価は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職員の意向を踏まえ、研修計画を立て、研修参加に努めている。またOJTの開催も毎月行っている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントを行い、記録や日々のミーティングを基に計画を反映させている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントツールを使用するために積極的に研修参加を行った。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			ミーティングで活動について話し合い、改善に努めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			一定の固定はあるが、その中でも変化がつけられるよう努めている。今後新たな活動も導入予定。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			その時々に応じて、活動を設定している。一定にならないよう改善していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別の課題や集団活動の中で課題を見極め、作成していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援前にミーティングを行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			日々のミーティング内にて前日の振り返り、気付いた点の共有・検討を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録に関してのOJTの開催を行った。今後も視点を変えOJTを行い、記録のスキルアップを目指す。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年2回のモニタリングを行い、見直しを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			ガイドラインについての説明の時間を設け、活動、支援に対しての重要性の把握に努めた。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者を通して行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				該当なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		○	今年度はなかったが、状況に応じて今後も情報共有に努めていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			必要があれば、または依頼があれば行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	○		積極的に研修参加を行った。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	保護者の意向も踏まえ、行っていない。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			市主催の子ども部会へ部会員として参加し、情報共有や連携を行っている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や個別面談、電話等で行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		ペアレントトレーニングは行っていないが、保護者からの相談等のあった場合は助言を行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			必要に応じて、面談・電話等にて行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	要望があれば検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			契約時に説明、事務所入口に受付ポスターの掲示をし、適切に対応できる体制を整えている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月のプログラム予定表の配布、また年3回の通信発行を行っている。支援システムにて活動の様子を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			鍵付き書庫に保管し、十分に配慮している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			わかりやすい伝達方法を工夫したり、アプリ等を使用している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	必要に応じて検討する。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			マニュアル等は策定済。通信や支援システムにて発信予定。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回実施。また不定期に招集訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人として年1回の悉皆研修となっている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			別紙にて説明、同意を得ている。また行った場合には記録を必ず行い、保護者に説明を行う。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		医師の指示書はないが、保護者との情報共有は行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			日々の引継ぎにて情報共有、毎月の支援会議にて検討と改善に努めている。